

食品の安全性等に関する消費者意識調査結果

徳島県危機管理部県民くらし安全局県民くらし安全課 (H23. 2)

1. 調査の目的

食の安全性等に関する県民の意識を把握し、食の安全・安心に関する施策に反映させる。

2. 調査の方法

(1) 調査対象者

スーパー等で食品を購入している18歳以上の一般消費者 2,700人

県内の大学に通う学生 300人

合計 3,000人

(2) 調査方法

県内24市町村のスーパー出入り口などでの聞き取り及び県内大学での調査票配布・回収

(3) 調査時期

平成22年10月

3. 回答者の属性

男女別	男性	691人	23.0%	年代別	10・20才代	463人	15.4%
	女性	2,285人	76.2%		30才代	261人	8.7%
	無回答	24人	0.8%		40才代	319人	10.6%
				50才代	414人	13.8%	
				60才代	770人	25.7%	
				70才代以上	772人	25.7%	
				無回答	1人	0.0%	

4. 調査結果概要

食の安全・安心について、9割以上の方が「非常に関心がある」又は「比較的関心がある」と回答しており、食に対する関心が高いことがわかった。また、消費期限、賞味期限の違いを知っているかについては、約7割の人が「よく知っている」と回答し、関心の高さがここにも表れた。

食品を購入する際に重視する点は、「鮮度」、「産地（国産・外国産）」、「消費・賞味期限」の順で回答が多く、食の安全・安心について不安を感じる項目については、「不適正表示」、「残留農薬、食品添加物」、「輸入食品」と回答した人が多かった。国産と外国産の安全性についても、9割弱の人が「国産の食品の方が安全だと思う」と回答しており、外国産の食品に不安を持っている人が多いことがわかった。

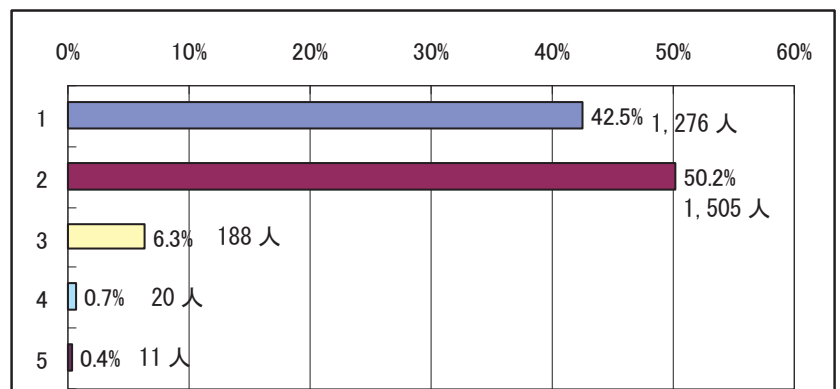
食品の安全・安心確保のために事業者、行政、消費者がすべきことについては、それぞれ「原材料の内容や品質に責任を持ってほしい」、「食品製造者への指導」、「食の安全性に関する知識と理解を深める」の回答が多かった。また、知識や理解を深めるために「生産・製造現場の見学」を望んでいる人が多いことがわかった。

産地偽装をなくすためには、「事業者のモラルの向上」が必要だと約4割の人が考えていることがわかった。

5. 調査結果

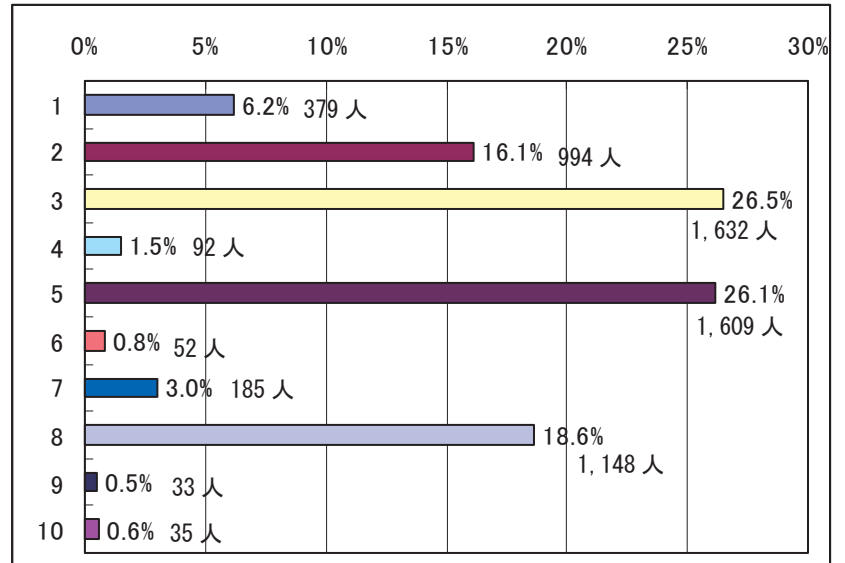
問 1 食の安全・安心について関心がありますか。

1. 非常に関心がある
2. 比較的関心がある
3. あまり関心がない
4. 全く関心がない
5. 無回答



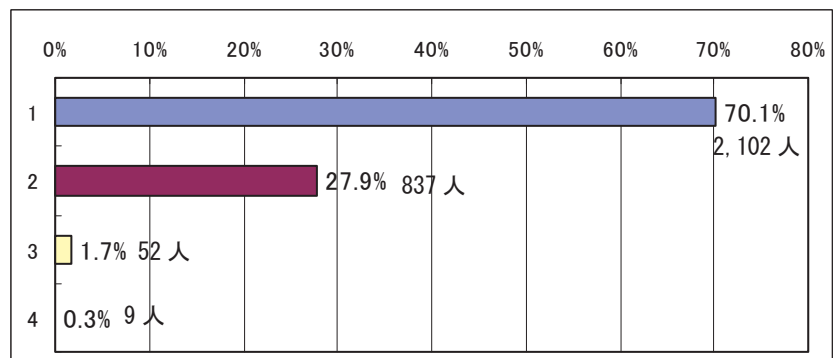
問 2 食品を購入する際、特に重視する点はどれですか。(複数選択)

1. 栄養価
2. 価格
3. 鮮度
4. アレルギー表示
5. 産地 (国産・外国産)
6. 商品の外観やイメージ
7. 製造者・販売者
8. 消費・賞味期限
9. 特になし
10. その他



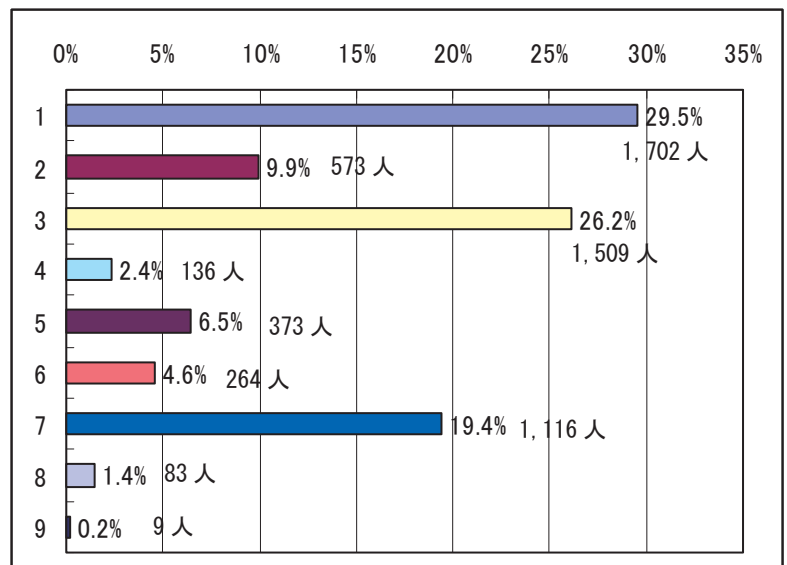
問 3 消費期限と賞味期限の違いを知っていますか。

1. よく知っている
2. あまり知らない
3. 全く知らない
4. 無回答



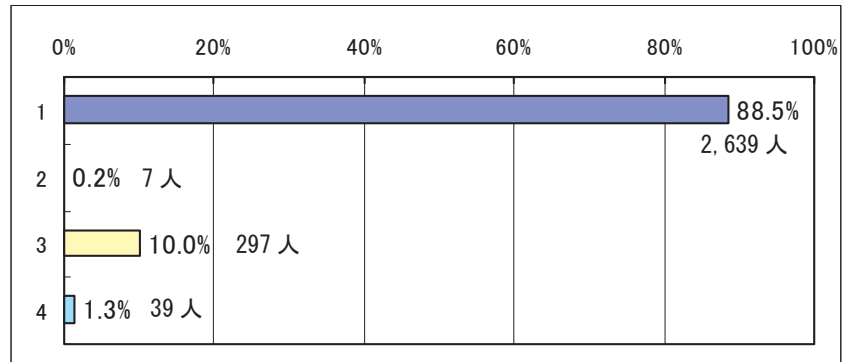
問 4 食の安全・安心について不安を感じている項目はどれですか。(複数選択)

1. 原産地や原材料、賞味期限等の不適正表示
2. 食中毒
3. 残留農薬や食品添加物の健康影響
4. アレルギー物質の健康影響
5. 遺伝子組み換え食品や照射食品の健康影響
6. 健康食品の効果や健康影響
7. 輸入食品の安全性
8. 食品の自主回収の増加
9. その他



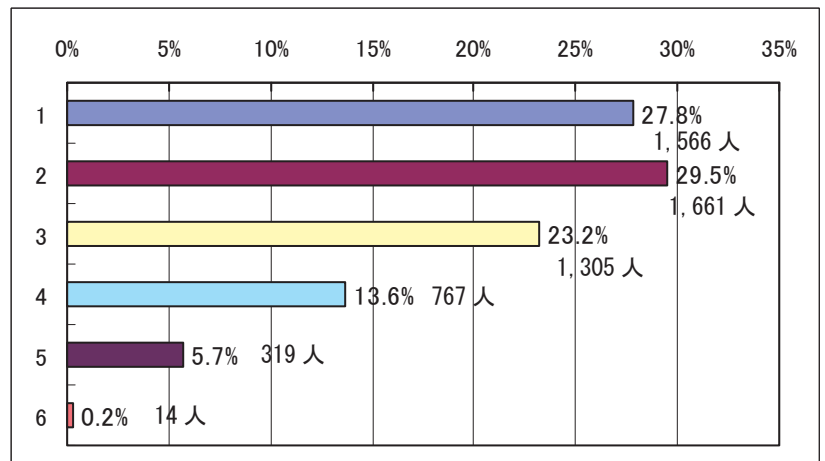
問 5 国産と外国産の食品の安全性について、どう思いますか。

1. 国産の方が安全だと思う
2. 外国産の方が安全だと思う
3. どちらも差異はないと思う
4. その他



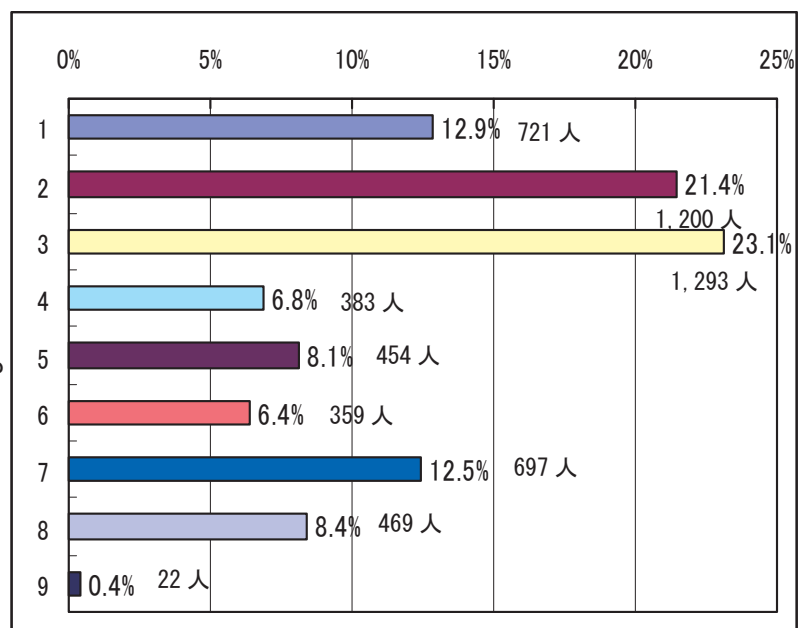
問 6 食品の安全・安心確保のため、食品に携わる事業者に取り組んでほしいことはどれですか。（複数選択）

1. 衛生管理を徹底してほしい
2. 原材料の内容や品質について責任をもってほしい
3. 適正な表示をしてほしい
4. 事故が発生した時は速やかに公表してほしい
5. 消費者への情報提供や交流に力を入れてほしい
6. その他



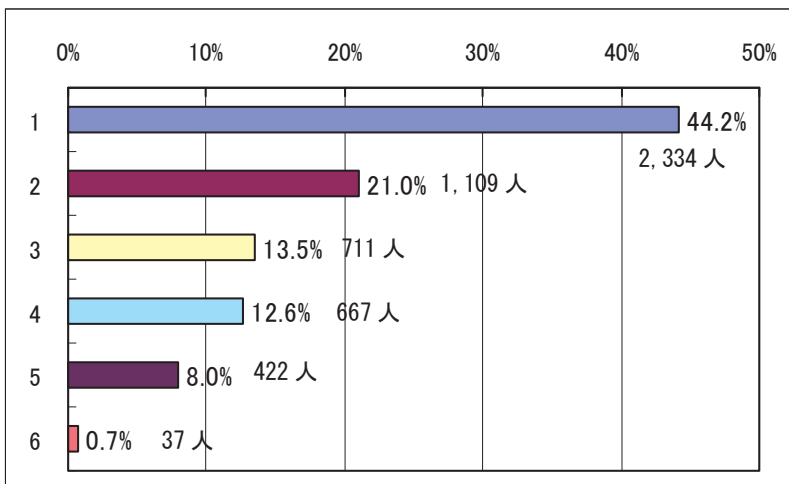
問 7 食品の安全・安心確保のため、今後より一層県に力を入れてほしいことはどれですか。（複数選択）

1. 消費者に対する情報提供や相談受付
2. 農水産物の生産者への指導（農薬、飼料、動物用医薬品等の適正使用など）
3. 食品製造者への指導（適正表示や製造所等への立入検査など）
4. 消費者に対する知識の普及と消費者・事業者・行政の相互理解を促進する取り組み（講座開催・意見交換会など）
5. 農林水産物、加工食品に関する調査研究や試験検査と地元産品などへの技術支援
6. 食品に携わる事業者に対する人材育成や自主管理体制の支援
7. 食品事故が発生した場合の速やかな対応
8. 環境にやさしい農業生産活動の支援
9. その他



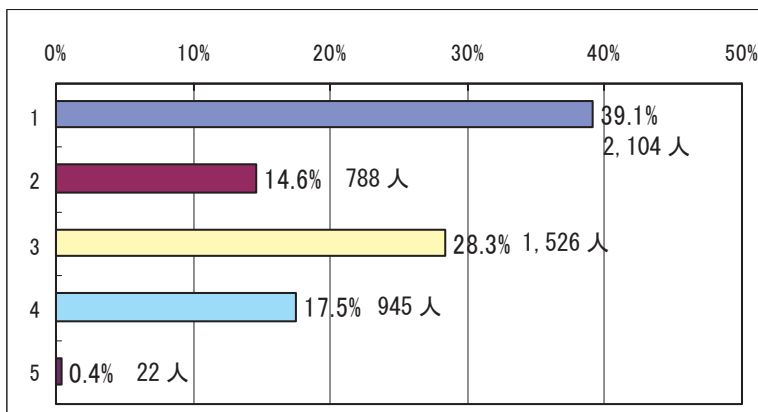
問 8 食品の安全・安心確保のため、消費者の果たすべき役割は何だと考えますか。(複数選択)

1. 食品の安全性に関する知識と理解を深める
2. 食品表示について理解を深める
3. 食と健康の関係について、科学的根拠に基づいた食生活について理解を深める
4. 食に関して何らかの異常を感じたら関係機関に相談する
5. 事業者や行政(施策)に対し積極的に問い合わせをしたり意見を述べる
6. その他



問 9 最近、相次いで発生している食品の産地偽装をなくすため、望むことは何ですか。(複数選択)

1. 事業者のモラルを向上してほしい
2. 地元産品への技術や流通面で支援してほしい
3. 行政の監視・指導を厳しくしてほしい
4. 違反時の罰則を厳しくしてほしい
5. その他



問 10 食品の安全・安心に関する意見交換等のうち、参加してみたいと思うものはどれですか。(複数選択)

1. 専門家による講演会
2. シンポジウム、意見交換会
3. 生産・製造現場の見学
4. 県職員による出前講座
5. その他

